



FUNATSURU
KYOTO KAMOGAWA
RESORT

2014年6月2日

登録有形文化財の木造五層楼閣建築「鮎鶴」を、地元若手作家に表現の場として開放 新たに「GALLERY FUNATSURU」としての展開を6月20日スタート

～若い感性が光る「陶芸」「染織」「彫刻」など約100点、歴史的空間を活かして作品展示へ～

フレンチレストラン・婚礼会場の「鮎鶴 京都鴨川リゾート」（所在地：京都市下京区 運営：バリューマネジメント株式会社 代表：他力野 淳）は、有限会社ニュートロン（所在地：東京都港区 代表：石橋圭吾）の協力のもと、新たに地元京都の若手作家の作品を展示する「GALLERY FUNATSURU」として、6月20日（金）にオープンします。確かな技術と強い意欲を持つ地元京都の若手作家に、地域の宝である文化財「鮎鶴」を表現の場として長期的に提供します。オープン当日は出展する作家や報道各社を招き、内覧会及びオープニング・レセプションを開催いたします。

大正11年築の当施設の創業は145年前。その老舗料亭を受け継ぎ、平成20年よりフレンチレストラン及び婚礼会場として再出発しました。今もなお多くの人に利用されていること、また建造物そのものの歴史的・芸術的価値も評価され、同24年には文化庁より登録有形文化財(建造物)に登録。この歴史的・文化的財産を守り次世代に残していくために、老舗茶舗「上林春松本店」（宇治市）と今も進める商品開発・販売のような“地域協業”など、地域活性化に繋がる事業が重要だと私たちは考えます。



京都の新たな文化情報発信拠点を目指して

「GALLERY FUNATSURU」は、「ART KYOTO2012」でも手腕を発揮した石橋圭吾氏をアートディレクターに迎え、地元京都の若手作家とコラボレーション。鮎鶴が持つ歴史的空間美を活かすことを前提に作品を展示、季節ごとに年4回の入れ替えを行います。鮎鶴の新たな魅力を生み出すと共に、来場者と作者・作品の新たな出会いも創出。かつて500名を収容する京都随一の料理旅館として賑わった「鮎鶴」が、今後は食やブライダルなどの“生活文化”と“アート”が融合する、京都の新たな文化情報発信拠点の場として地域を盛り上げていくことを目指します。

東山と鴨川をパノラマで一望できるテラスをリニューアル。テラスにも作品を展示。

「鮎鶴 京都鴨川リゾート」では5月1日に、毎年人気の川床がオープン。これまで一般開放していなかった4Fテラスをリニューアルし、今回の「GALLERY FUNATSURU」の展示スペースとしても開放しました。内覧会では、魅力を増した「鮎鶴」館内をくまなくご覧いただけます。

本件に関するメディアからのお申込み、お問い合わせ先（申し込み書添付）
バリューマネジメント株式会社 担当：福山俊樹
京都オフィス 〒600-8014 京都府京都市下京区木屋町仏光寺下ル和泉屋町164
TEL: 075-354-7021 e-mail: fukuyama.toshiki@vmc.co.jp
バリューマネジメント HP: <http://www.vmc.co.jp/>

■「GALLERY FUNATSURU」概要

開催期間：「春」6月20日（金）～8月22日（金）（次回秋開催は、9月開催予定）

入場時間：11:30～21:00（ただしレストラン利用者、宴会客は時間に制限無し）

※期間中は月・水・木・金のオープン（土日は要問合せ）

テーマ：『川床に満つるは宴の調べ』

会場：FUNATSURU KYOTO KAMOGAWA RESORT 全館（1階～4階）の各所

入場料：無料（閲覧のみ）

■「GALLERY FUNATSURU」アートディレクター 石橋圭吾氏

有限会社ニュートロン代表取締役。「白白庵」主宰・アートディレクター。1973年、東京都生まれ。1996年、同志社大学法学部法律学科 修了。大学進学を機に京都に移住し、ライブハウスのブッキングマネジメントや広告デザインの仕事等を経て、2001年に「neutron」を開業。翌2002年に有限会社ニュートロン設立。衣食住にまつわる様々なスタイルと現代のアート・クリエイティブの融合を目指して店舗・事業を展開。2012年末に「neutron」を終了するまで数多くのイベントを手がけ、気鋭の作家を輩出する。2013年からは新たに「白白庵」を設立し、日本のものづくりの歴史の上に位置する最先端を紹介している。



出展予定の作家：井上 雅博(表具師)、かのう たかお (陶芸作家)、津田 友子 (陶芸作家)、谷口 和正 (彫刻作家)、谷口 晋也 (陶芸作家)、前川 多仁 (染織作家)



井上 雅博



かのう たかお



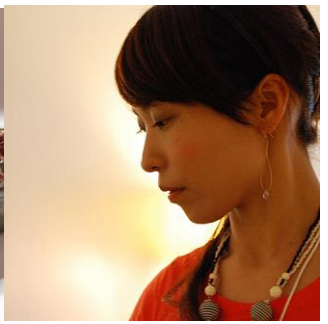
前川 多仁



谷口 和正



谷口 晋也



津田 友子

■料亭「鮎鶴」の歴史

はじめは創業明治3年、鮎屋の鶴さんが「鮎鶴」に
明治3年(1870年)、ひとりの川魚業者が仕出し屋を創業しました。彼の名前は田中鶴三郎。主に鮎を扱っていたことから「鮎屋の鶴さん」と親しまれ、この愛称より「鮎鶴」という屋号が付けられました。大正11年(1922年)、現在地である木屋町松原に移転。宮大工・上田喜三郎、山本米蔵らによって、一世一代の大建築が始まります。当時、周囲の料亭はほとんどが平屋でしたが、新しい鮎鶴は五層四階建ての巨大な木造建築。構想から3年もの年月をかけて、大正14年(1925年)、それまでの常識をくつがえすような大料亭が完成しました。

京都随一の料亭旅館へ

これまでの料亭が、美しい庭を眺めながら食事を楽しむ場所であったのに対し、鮎鶴は、すぐそばを流れる鴨川と、その向こうに連なる東山三十六峰を愛でながら食事をするという、桁違いのスケールを提案しました。また、一度に200名ものお客様をお招きできる大広間の存在も、従来の料亭の概念を打ち破るものでした。評判を聞きつけた旅行者が日本中から訪れるようになり、昭和9年(1934年)に5階建ての新館を、そののち2度の増築を重ね、ついには最大500名ものお客様を収容できる京都随一の料亭旅館となりました。

食文化と地域への貢献

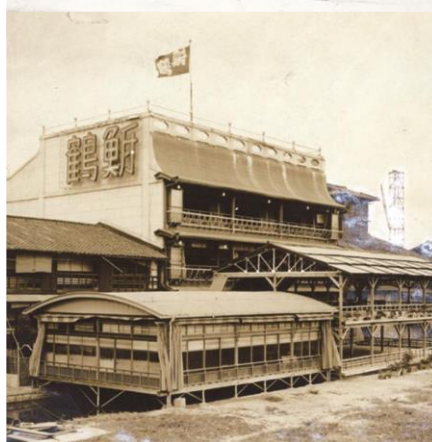
三代目田中朋二郎の時代になると、大衆をターゲットにする事で利用客が増大。その対応に、多くの料理人が必要となり、鮎鶴は料理職人の育成と地域への貢献に力を入れていきます。具体的には①技術講習や展示会の恒例化と地域を巻き込んだ開催②一般への調理技術指導、提供による地域での信頼獲得などです。また、出入り業者が増えるとともにそれに伴い宣伝効果も拡大され、得意先が鮎鶴を応援する「鮎鶴会」を設立。この鮎鶴会は新たな料理講習会設立につながり、昭和16年に名称を「大和」に変更します。現在のTAIWA学園の前身です。また鮎鶴会は得意先のみでなく芸術家や知識人も参加することで文化会的要素を多分に持ち、鮎鶴のブランディングに大きく貢献しました。

現代へと引き継がれる鮎鶴

大衆をターゲットに広く利用されて来た鮎鶴は料理人の育成や料理講習会の開催など、地域への貢献を重ね長年愛されてきましたが平成に入り老舗料亭として幕を閉じ、ウエディングに業態変更。平成20年よりバリューマネジメント株式会社がその運営を受託しています。

価値あるものを後世に残したいという想いから、1階はフレンチレス

トランとしてモダンな創りながらも2階より上層は昔の面影を残し、小村大雲の天井画や今では再現が不可能といわれる折上格天井などが今も健在で利用者の目を輝かせています。また受け継ぐのは施設に限りません。限られた一部の方だけでなく、すべての方にご利用いただける場として「顧客を大切にしたい」「得意先を大切にしたい」「地域を大切にしたい」と受け継ぎ現在に至ります。



■バリューマネジメントについて

人生において大切な節目であり、家族の絆を見つめ直す結婚式の企画、運営、婚礼式場の経営、店舗開発のコンサルティング、人材開発コンサルティングなどを手がけています。「マネジメント」「オペレーション」に特化し、モノやサービスの本来持つ価値を最大化させるプロフェッショナルオペレーター集団として、「顧客満足度」「従業員満足度」「パートナー満足度」を念頭に、社会や組織、関わるすべての人々に対し、幸福をもたらすことを企業理念としています。

婚礼事業では、未来に残していくべき歴史的建築物を婚礼会場として再生させることで、地域資源である文化財の修復及び存続、そして結果的に地域の活性化にも繋がりたいと考えています。また、日本の良き文化としての結婚式を次世代に継承するため、一般的なサービス業の観点からは不合理とも言える古き慣習が残る婚礼サービスの変革に取り組み、結婚披露宴実施率の向上を目指しています。

■会社概要

社名	バリューマネジメント株式会社
本社	大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19F
資本金	3,000 万
代表者	他力野 淳
社員数	200 名
設立	2005 年 2 月
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 婚礼事業のコンサルティング及び企画、運営、請負・ 婚礼会場の経営・ 店舗開発に関する調査、企画、設計及び監理・ 戦略コンサルティング・ 人材育成及び職業能力開発のための教育事業並びに社員教育の受託
運営会場	<ul style="list-style-type: none">・ 東山を一望する 140 年の歴史ある元老舗料亭「鮎鶴京都鴨川リゾート」・ 静かな森に立つ、大正建築の邸宅を改装したゲストハウス「アカガネリゾート京都東山 1925」・ 世界的建築家 安藤忠雄のデザイナーズゲストハウス「ザ・ヒルサイド六甲山ノ手」・ 3000 坪の敷地に佇む文化財指定迎賓館「神戸迎賓館」・ ウォーターフロントのリゾートゲストハウス「リバースイート大阪」・ びわ湖畔のリゾートホテルウエディング「ロイヤルオークホテル」・ 歴史と由緒に彩られた本格フレンチレストラン「銀座マキシム・ド・パリ」・ 伝統的建造物認定の白亜の洋館の文化財指定迎賓館「北野異人館 旧レイン邸」